

Science Café

平成24年5月12日（土）15:00～17:00（要予約）

■サイエンスカフェって何？

先生1人に対して、申し込み者複数人で、先生が決めたテーマについてドーナツを食べながら、カフェを飲みながら、気楽に、楽しくみんなで話をするのが、日本獣医生命科学大学流の「サイエンスカフェ」です。

1人では緊張するなどお思いの方は、是非、お友達をお誘いの上、ご来校ください。多くの高校生の参加を心からお待ちしております。

◆ 獣医学科

「動物たちの感覚と脳の機能：動物たちは世界をどう感じているか？」

比較動物医学 助教 中田 友明

動物の神経中枢(脳)は、さまざまな外的、内的な環境情報をそれぞれの受容器から受け取り、行動や生理的な調節を行うことで、生命の生存に欠くことのできない役割を担っています。匂いに敏感なイヌや、空を自由に飛ぶことのできる鳥類、そして最も知能の発達した人類の脳ではその形態、組織にどのような違いがあるのでしょうか？

今回は、様々な環境の情報を脳がどのような仕組みによって処理しているかを紹介し、さまざまな動物種ごとにその機能と形態がどのような特性と違いがあるのかを考えてみましょう。

◆ 獣医保健看護学科

「がん治療戦略開発の現状について」 獣医保健看護学基礎部門 講師 落合 和彦

現在、日本人の男性の2人に1人女性の3人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡すると言われています。さらに2015年には日本人の3人に2人ががんになり、2人に1人ががんで死亡すると言われています。これは動物でも同じで飼育環境の向上がもたらしたペットの長寿化に伴い、がんにかかるイヌやネコが増えてきています。

この現状を踏まえ、がんを克服するための様々な治療法が開発されています。その現状について実例を踏まえてお話できればと思います。

◆ 動物科学科

「動物は如何に季節を読み取っているのだろうか」 動物生理制御学 助教 中尾 暢宏

春になると桜が咲き、小鳥はさえずる、私たちは生命の躍動感を感じます。私たちは、カレンダーや時計を利用して「時」を知りますが、動植物は如何に「時」を測り「春」の到来を感知しているのだろうか。動物がどのように「時」を測り季節に適応した生理現象を起こしているのか、その仕組みについて遺伝子レベルで紹介いたします。

◆ 食品科学科

「生活環境と食の安全」 食品健康環境学 教授 斉藤 賢一

私達の生活環境は大きく変化しており、それとともに食の安全に対する考えも違って来ています。健康な社会を築き、健全な人々の営みは食べ物から始まります。我が国では食の安全を科学的視点から見ることは、先進国に比べて遅れていると言われております。私達が健康に生きるために、食の安全をめぐる問題は基本的な課題であります。しかも、我が国では食の安全に関係する事件は、後を絶たないのが現状です。私達が食の安全の確保のために必要な科学を勉強し、健康に影響を与える要因について事前にリスク管理を行うシステム構築が必要であります。私達の大学では、食の安全を先進的に支える人を育てていきたいと考えております。

TIME SCHEDULE

		15:00	16:00	17:00
受付	B棟3Fエレベーターホール (全学科)			
相進談学	B-312 ニチジュウCafé	▼入試などの質問はこちら! 15:00～17:00		
サイエンスカフェ	B-313 食品科学科	▼生活環境と食の安全 15:00～16:00		
	B-314 動物科学科		▼「動物は如何に季節を読み取っているのだろうか」 16:00～17:00	
	B-315 獣医保健看護学科	▼「がん治療戦略開発の現状について」 15:00～16:00		
	B-316 獣医学科		▼「動物たちの感覚と脳の機能：動物たちは世界をどう感じているか？」 16:00～17:00	

日本獣医生命科学大学
サイエンスカフェ 2012

会場：日本獣医生命科学大学 第一校舎 B棟3階

■詳細は日本獣医生命科学大学ホームページへ！

<http://www.nvlu.ac.jp/>

お問い合わせ先

日本獣医生命科学大学教務課 入試係 TEL: 0422-31-4151

e-mail: nyushi@nvlu.ac.jp